

令和8年度 事業計画書

1. 事業活動方針

全国シルバー人材センター事業協会では、令和7年度に「新たな仲間づくり計画」を策定し、各都道府県連合会および各拠点においても様々な取り組みを進めております。

しかしながら、全国の会員数は現在約68万人となっており、減少傾向が続いております。併せて、会員の高齢化も進行し、これらが事業運営においての大きな課題となっております。

当センターにおきましては、厚生労働省が示す「新たな契約方法」へ移行し、また今後予定されている「新会計基準」への適切な対応に向け、準備を進めてまいります。

令和8年度も、シルバー人材センターの周知活動を一層強化し、会員の拡大を図るとともに、高齢者のさらなる就業機会の確保と社会参加の促進に積極的に取り組んでまいります。

2. 事業内容

【1】受託事業の拡大

(1) 事業目標

項 目	令和8年度目標値	令和7年度見込値
会員数 (人)	255	233
契約金額 (千円)	122,520	118,048
就業率 (%)	90	90
受託件数 (件)	1,200	1,149

(2) 会員増強

- ① 入会説明会を定期的を開催する。(年12回)
- ② 顧客や会員などの口コミにより入会促進を図る。
- ③ 会員募集チラシの全戸配布を継続的に実施する。
- ④ 公共施設を活用し、広く町民に告知する。
- ⑤ 退会者の退会理由の要因分析を継続して実施し対策を講じる。
- ⑥ ホームページを活用し、情報を定期的に提供する。
- ⑦ 居住地域ごとに入会促進策を検討する。
- ⑧ 社会参加活動(教室・講座)を通じたセンターの周知・会員獲得を図る。
- ⑨ 会員紹介運動の実施。入会者・紹介者に対する特典付与等を実施する。
- ⑩ 女性会員数の拡充を図る。

(3)就業機会の開拓

- ① 顧客へセンターの業務内容や受託可能な職種をPRする。
- ② 未就業会員解消への取り組みを積極的に実施する。(就業相談、声掛け)
- ③ 発注者(新規)アンケートを実施する。
- ④ 他市町村シルバー人材センターの実施事業の調査研究を行う。
- ⑤ 企業等に請負、委任事業以外に派遣事業もPRして就業形態の多様化を図る。
- ⑥ 高齢者活躍人材確保育成事業(県シ連主催の講習会)を活用する。
- ⑦ 町から委託された介護保険・生活支援サービス事業(訪問型サービスA)の拡大のため町と連携を図る。
- ⑧ 女性会員の就業機会確保に向けた取組を進める。

【2】シルバー派遣事業の推進

派遣事業にて新規職種開拓を行う。

【3】有料職業紹介事業の推進

臨時的・短期的な雇用を求めている高齢者に随時職業紹介を行う。

【4】就業に必要な知識及び技能習得のための講習会を開催

- ① 技能や安全操作の必要な職種の講習会を継続する。(草刈、襖、植木)
- ② 就業需要の有る職種を研究し、その職種の実施に向け必要な講習会を開催する。
(町と連携し訪問型サービスA事業の拡大等)
- ③ 会員の持っている技術・技能・資格・経験等を整理し、活用できる職種に合った講習会を実施する。

【5】普及啓発活動の展開

- ① 会報誌「シルバーさむかわ」を発行する。
- ② 「事務局だより」(A4)を発行し、理事会、委員会、事務局等からの情報提供の場とする。
- ③ ホームページの適宜更新を含め、内容を常に見直し、入会者及び新規顧客の獲得を図る。
- ④ PRチラシの配布(全戸配布又は地区限定配布)を行う。
- ⑤ 賛助会員の募集を図る。
- ⑥ smile to smile を利用し情報提供をする。

【6】安全就業及び交流事業の推進

- ① 安全就業推進委員会を定期的で開催するとともに、安全パトロールを実施する。
- ② 安全講習会を開催する。
- ③ 会員交流事業を推進する。

【7】その他

- ① デジタル化を推進する。
- ② 就業に関する相談を随時実施する。